

## 【収 録】 3月 新聞やインターネット等から眼についたニュース整理

思いつくまま 気になったニュース等の切り抜き・転載

2025.5.12.整理作成

コメントなしでの転記掲載 消化不良ですが、私の好みの選択転記・書き写し。ご参考になれば…

本年春は良くも悪くも世相はトランプ関税一色。トランプアメリカ大統領に振り回された春  
国際協調・国際感覚など何のその。 わが身の思うまま 気の向くまま 米国は利己保護主義一色への政策転換  
世界が混とんとする中で、かつての皇帝・将軍の時代を思わす振る舞い。大統領令連発等々 議論も討論も何もな  
いまま 唯我独尊。思いのままの政策展開。意にかなわぬ意見を「フェイク」と切り捨て。それでいて持論もコロ  
コロ変える状況。自分の意はあるが、きっちりした詰め取組は見えず。  
トランプ大統領の政策をどうとらえるべきか疑心暗鬼。世界の政治・経済・産業がトランプに振り回される。  
この先 世界はどうなるのか 景気・政治・経済そして今も続く戦禍と物価高。  
また 日本はどう動くのか・・・

### 1. 神戸新聞朝刊のコラム「正平調」

気になった3・4月掲載の抜き書き転載でこの春を振り返る

### 2. 文珍さんの落語見聞録 3月・4月

AI 時代への対応をしっかりと頭に入れて 2025.4.31. Mutsu Nakanishi

混乱の時代の中で 世界は AI が席卷する高度情報社会 効率優先の AI 判断の文書作成と処理。  
今まで、良い事ばかりが宣伝されてきたが、WEB・SNS を通じての偽情報の流布・犯罪への AI の関与。  
真偽の見分け判断が不明のまま、利便さに集中して、AI を使うことにより、著しい自己判断力・記憶・情報力  
低下の時代の懸念が密かに忍び寄る。

(PC・Web でも膨大なデータ蓄積のある AI ソフトでの処理を簡単に使える時代に)

一見すばらしいパワーを秘めた高度情報社会へのアプローチも、半面 機械万能がもたらす無気力・根拠不明  
な機械依存 AI 優先の時代の幕開け懸念が広がりつつある。 世界を揺るがす偽情報は、今や個人レベルでは  
見抜けぬ時代になりつつあり、しかも偽情報除去技術や管理は不明確。

本物と変わらぬ偽情報埋め込み web サイト等々の偽情報が益々横行・氾濫状態で、裏社会は急拡大の兆し。  
歯止めのかからぬ AI ・偽情報が政治の世界を動かし、人類を破滅へ追い込むと 警鐘を鳴らす人たちも多い。  
今やいたるところで賛否両論。多くの人が AI や偽情報がまかり通る社会に疑問を持ち、意見を述べ始めた。  
しかし、我々を取り巻く周囲を見ると AI の活用は その利便性ゆえ無防備のまま急加速で広がっている。

急がないと世界はますます混乱を招く時代へ……………

◎「フェイクニュースと言いつつ攻撃するトランプそのものが流すフェイク」ではないか？

◎ 即答・会話ができなくなった最近の国会議員の先送り・模範的な責任回避の答弁もますます広がり  
当事者意識のなさ、マスコミ 政治・経済の指導層に広がっている。

◎ 最近「AI で作成した」という NHK のニュース 変なところがないかと注視するも素人では無理。  
NHK はどの程度チェックしているのでしょうか…

◎ 新聞のコラムは個性が売りと思うのですが、最近のコラムの中に、AI をおもわせる無味乾燥な  
恣意的と見えるコラムも散見、インフルエンサーの上を行く総花解説的で雑に見えるコラムもある。

上記の私の雑文 特に悪意なく私の感じたままの記述です。

毎日美祢新聞やマスコミの報道を見聞していると、何か異変がおこっているのではないかと…………

今こそ 老いも若きも物事の価値判断・判断力の醸成に注視することが世界を動かすカギになると思います。

色々なことがあった本年の春 私が眼にした記事の中から、気になったニュース等を切り出しました。

世相・世界が混乱の中にある今 何が起るのか、判断のつかない昨今 本当に思いもかけぬ事が次々と…………

受け止めは色々ですが、真偽を見抜く判断と判断力を磨かねば…………と。 ご参考になれば

【1】 気になった3月の「正平調」 抜き書き転載でこの春を振り返る

◆ 神戸の春を呼びいかなご「新子漁」 本年も不漁で休漁 3月14日

正平調

「檀流」の看板を掲げ、文壇随一の料理人といわれた方だけあって、さすがはお目が高い。日本で最もいい食品に恵まれているのは「考えるまでもなく瀬戸内地帯」だと、檀一雄

さんが書いている◆明石、家島、小豆島、さらには岡山から山口に至るまで「魚介類の宝庫をひかえて、あんなに、原料の贅沢な地帯は、世界でも珍しいに相違ない」と（「美味放浪記」）。とにかく褒めである◆瀬戸内からいたたく魚介の恵みは数あれど、春の食卓は何と言ってもイカナゴにとどめを刺す、との地元の声は決して大げさでない。熱々ご飯のお供に「煮」そんな庶民の味に異変ありといわれ、もう久しい◆店頭価格が1ポ1万円を突破したという記事に目が飛び出た。播磨灘で始まったイカナゴのシンコ（稚魚）漁は今年も不漁で、今日をもって終えるという。値は年々上がるばかり、おまけに今年はコメまで高い◆阪神・淡路大震災が起きた30年前も人々は「煮」づくりをやめなかった。仮設住宅から立ち上る甘辛い香りは、生活復興へののろしでもあった。今は庶民の味を気兼ねなくいただける食卓再興の日が待ち遠しい◆誰よりもつらいのは、瀬戸内の恵みを届けたくとも届けられない漁師さんたちだろう。春の海が泣いている。 2016.3.14

◆ 二人称には敬称と親称 英語には「YOUのみ」

トランプ大統領がゼレンスキー大統領を出迎えて云った「YOU」はどっち 3月15日

正平調

あなた、これを読んでいるあなた、あなたと言われて、どう思います？失礼と立腹するか、そうでないか。最近も交流サイト（SNS）で論争になっていた◆ドイツ語などでは、二人称に敬称と親称があり、「あなた」と「君」のように訳し分けると習ったもの。ちなみに、新明解国語辞典によれば「自分と同等程度の相手を軽い敬意をもって指す言葉」だ◆しかし、現在は敬意が下落し、「特に男性が目上の人や初対面の人に用いると、見下したような印象を与えやすい」とも。確かに。わざわざ二人称を使うと、距離感がある。「あなたは何様ですか」と言われたら、立ち直れそうにない◆いや、あなたに罪はない。校正者の大西寿男さんは「その場の状況や文脈により、人をばかにする言葉にも尊重する言葉にもなる」と話す。だから「適切か不適切かを主張し、正しさを譲らないのは悲しい」と◆二人称が「YOU」だけの英語も、そうだろう。

トランプ米大統領は、普段と変わらぬ黒いシャツで現れたウクライナのゼレンスキー大統領を出迎え、言った。「ユーは今日、随分着飾っている」◆どちらの「あなた」かは明らか。通訳抜きで会談が事態を悪くし、米世論は二分した。どうか主張の前に尊重を。あなたに、切に願う。 2016.3.15

日本には政治家や会社幹部がよく使う自分の一人称を三人称化して使う耳障りな表現もある…

これらからくみ取れることは…………… Mutsu Nakanishi

◆ 3月18日 お腹いっぱい食べて 「まあいいか」が幸せの道

人と人を結ぶ滋味豊かな人生は皆を笑顔にする

正平調

「どうしたら自分を好きになれるか？」。問われて、まず「俺もこういつぶうに悩みたいなあ」「ある意味うらやましい」と返す。若いのに物忘れがひどい、との相談には「人間は忘れるってことがすごく大切だと思うんよ」◆読みながら何となく、なるほどなあ、と思わせられるのは雑誌「ビッグイシュー」の人気連載だ。雑誌を売るホームレスの人たちが読者の悩みに答える◆連載に「悩みに効く料理」を添えて盛り上げるのは料理研究家の枝元なほみさん。物忘れがひどい、の悩みに「記憶力アップに役立つDHA豊富な青魚を」と、サンマの有馬煮を紹介するといった具合に。その枝元さんの計報が届いた◆食いしん坊を自任する作家の田辺聖子さんがエッセーに書いている。ホイホイ、サッサと作って食べさせ、「どう？ いけますか？」とニッコリ笑う人が好き、と。テレビや雑誌でおなじみの枝元さんのにこやかな顔は、まさにそんな感じだった◆ビッグイシュー基金の共同代表や農業支援などの社会活動に、積極的に関わり続けた。人と人を結ぶ滋味豊かな人生は皆を笑顔にする料理のよう◆「おなかいっぱい食べて、『まあいいか』が幸せへの道」。枝元さんの言葉をかみしめ、今日も「いただきます」を唱える。 2016.3.18

◆ 3月20日 春分の日 本年4月20日イースター休戦の願い

調平正

〈トトトと鳴る徳利や桜鯛〉。春が来れば必ずこの句を思い出すと、俳人の宇多喜代子さんが本紙の「随想」に書いていた。京極紀陽の作。華やぐ食卓の風景が浮かぶ。きょう

は春分の日◆春分は二十四節気の一つ。古代中国の暦法で、それが日本に伝わってきた。昼夜の長さがほぼ等しい日。洋の東西を問わず人々に意識されてきたが、キリスト教徒にも大きな意味がある◆春分の日、最初に迎える満月。その次に来る日曜日に毎年イエス・キリストの復活祭（イースター）が行われる。クリスマスと並ぶ重要な行事だ◆今年は4月20日。ロシアやウクライナなどに信徒が多い東方正教会ではカトリックやプロテスタントとは違う暦を使う。そのために復活祭の日も異なる。だが今回は偶然同じ日になった◆ウクライナ侵攻が始まった2022年、ゼレンスキー大統領は4月24日の復活祭に合わせた休戦を提案した。国連のグテレス事務総長も同様の人道的停戦を訴えた。しかしロシア側が拒否した◆トランプ米大統領とロシアのプーチン大統領が電話会談し、一部で合意した。完全な停戦につながるのか。家族で穏やかに春の食卓を囲む。東西の復活祭が重なった今年、そんな一日がウクライナの地に訪れることを心から願う。 2025.3.20

◆ 4月2日 人間のことは聞こえるか 耳に問うてみる

調平正

「人間のことは」しか持たない自分には会社の理不尽に歯向かうすべがない。〈会社の耳には／会社のことばしか通じなかったから〉。石垣りんさんの詩「定年」である◆14歳で事務見習として銀行に職を得、定年まで勤め上げた石垣さんだが、思うところはいろいろあったらしい。〈たしかに／はいった時から／相手は会社、だった。／人間なんていやしなかった。〉と、なかなか手厳しい◆会社のことはしか通じない実例というものを、きのうの新聞で見た。その会社では性暴力が「男女間のトラブル」に変わり、被害者の退職は「ひと段落」、口封じは「見舞金」というらしい。フジテレビでは◆当時アナウンサーだった女性が元タレントから性暴力を受けていたと、フジテレビの設けた第三者委員会が認定した。調査によると、被害は「業務の延長線上」で起きていたという。まともな職場ではあるまい◆「ハラスメントに寛容な企業体質」と異様な指摘もされている。人間のことはに敏感で、人権侵害やハラスメントには真つ先に非難の矢を放つべきメディアが足もとの訴えに鈍感であるなら、信頼は地に落ちる◆残念ながらフジテレビに限った話だと言いつける自信は、ない。人間のことは聞こえるか。耳に問うてみる。 2025.4.2

世相は混とん 地球温暖化がもたらす気象の激甚化に歯止めがかからぬ中、真偽が見抜けぬ AI 社会へ急展開何が正しいのか 全く見抜けぬ混とんの時代に 物価高が急テンポで進む中、  
“自己中 トランプ関税”の追い打ち。主食のコメまでも高値になり、値上がり止まらない。  
政府・官僚は “放出米出したから そのうち下がる”との評論 解説の無政策。  
政府・官僚は施策実行者 “そのうちではダメなんだ”と。  
神頼み 人頼みの社会になったなあ…。年金生活者も もう 先行きに(音)を上げています。  
ふと 頭によぎる “切り捨て”の構図。切り捨てられてはたまるか!! とも。  
ぶつぶつ言ってはおられない。  
“この厳しい時代 日本の未来を若者たちに託す”との心意気  
“God be With You!!”は口癖になりましたが、“今日も一日 Nice Day!!”  
新緑 紺碧の空 うまい空気を胸一杯  
お互い元気で 前向いて 2025.5. 新緑の5月が始まって Mutsu Nakanishi from Kobe

🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを精一杯

無理せずゆっくりと

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

神共に居まして

変えられるものを変える「勇気」

変えられないものを

受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈りより

God be With you !!

トランプ米大統領に振り回され続ける本年の春 日本の行く先は・・・

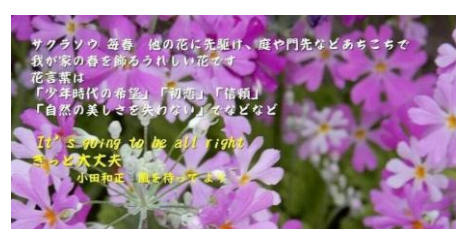
“正平調”には取り上げられていませんが、コメ不足・コメの高騰も。

素晴らしい春景色を眺めつつ、頭をよぎるのは”平和で穏やかな暮らし”のこと。

人類が7千万年の歴史の中で、勝ち得た叡智の宝 “相手を思いやる心” 命は宝”

戦禍が収まり、一日もはやく平和な暮らしが世界に行き渡ります様に

2025年春 From Kobe Mutsu Nakanish



【2】文珍さんの落語的見聞録 3月 神戸新聞朝刊連載より転記 2025.17.

## 「新技術でホントに命輝く未来？」

神戸新聞NEXT



# 新技術でホントに命輝く未来？

このところ春めいてきた  
と思いきや、花粉症に悩ま  
され、葎屋に行けば「ス・キ  
薬局」。ティッシュで鼻を  
かんでいるうちに鼻が赤く  
なり顔をかくすほど大きな  
マスクのいる時節、TVニ  
ュースで、近づく万博めが  
けてマスクをしても通  
ることができない顔認証の地  
下鉄の改札ができている、  
と報じていた。1年以上前  
から実証実験したらしい。  
何度も地下鉄に乗るが、  
その顔認証ゲートを通つて  
いる人を一度も見ることが  
ない。試しに私は一度通つ  
てみた。するといきなり×  
(バツ)が出た。何でも顔を  
登録しないとかメーし  
てい。そんな面倒なことをす  
る人がいるのか？ 大体、  
人の顔は個人情報のかたま  
りみたいなもの、この人物  
が何時どこからどこへ移動  
してなことを知られて気分  
がいいはずがない。デジタ  
ル化等のテクノロジと人  
間の気持ちがあ合わないの  
だ。いよいよ近づく万博では  
一気にキャッシュレス化を  
進めようとの意図があるよ  
うだ。JR東海では東海道  
新幹線のワゴン販売が無く  
なった。私は車内で売つて  
いたカタイカタイアイスが  
好きで、車内で「アイスが  
欲しいのですが」と言つと  
「モバイルで注文してくだ  
さい」と言う。そこで「モ  
バイルで何です？」と聞き  
返したら相手はアイスより  
カチカチに固まつていた。  
しばらくしてやっとアイス  
が来たと思つたら手にはタ  
ブレット、「これで注文し  
てください」と…。面白  
がる。

落語「松山鏡」では親孝  
行で正直者の正助が領主に  
ほつびに何が良いかと問わ  
れ、「亡くなった父親に会  
いたい」と言う。機転を利  
かせ、領主は当時珍しかつ  
た鏡を箱に入れて与えた。  
喜んだ正助、納屋で箱を  
そつと開けると、そこに父  
親が…。鏡を知らない正助  
は自分の顔を父親だと思つ  
たわけだ。毎日、朝に夕に  
こつそり納屋に行き、「父  
ちゃん元気か？」と声をか  
けていた。一方の女房、近  
ごろどうも様子がおかしい  
と、亭主の留守に納屋に行  
き箱を開けると女がいる。

「私に内緒でこんなところ  
に女を…」と夫婦ケンカ、  
通りがかった尼さんが仲裁  
に入り、私がその女に言つ  
てきかす、と尼さん。箱のフ  
タを開ける人に「心配せん  
でもええ、女は悪かったと、  
髪をおろし尼になった」。

何とものかな啼だが  
人は新しいものに合つた  
時、肌感覚に合うテクノロ  
ジーでなければ命輝く未来  
はやって来ないと思う。

（かつら・ふんちゃん落語家）

つら・ぶんちん 落語家  
 次回は4月17日

今日はスマホ決済や顔認証の話 年寄りに新しいことは難関。

肌に合わぬことはすぐ忘れるし、まごついた思いばかり。文珍さんが言うように「ある ある」と。

落語は「松山鏡」。この落語は知りませんでしたが、その落ちに思わず笑っちゃいました。

スマホの使い始めた時を思い出す。スマホカメラに写るのは自分の顔ばかりと。とほほ……

若者も年寄りもみんな 肌に合うテクノロジーでなければ やっぱり輝けない。

「安物買いの銭失い」というが、何度やったことか「新しもの買いの銭失い」と

Mutsu Nakanishi 2025.5.17.転記載録